

四日市港

四日市港管理組合

〒510-0011 四日市市霞二丁目1-1

☎059-327-7156 (企画課)

URL : <http://www.yokkaichi-port.or.jp>



1. 概況

四日市港は、日本列島の中央部、伊勢湾北西部に位置し、名古屋港とともに、躍進著しい中部経済圏を代表するわが国固有数の国際貿易港である。本港は古くから江戸と京を結ぶ陸海の要衝として栄え、明治3年、四日市－東京間の定期航路が開設されて大いに繁栄し、その名は日本国中に知れ渡った。さらに稲葉三右衛門氏による私財を投じての築港工事の完成により、近代港湾としての基盤が確立した。

明治32年に開港場、同34年、第2種重要港湾となり、同42年から三重県が国庫補助を受けて本格的港湾整備事業に着手した。昭和14年頃までに第1埠頭を中心とするほぼ現在の港湾形態が整った。昭和7年、近代的な毛糸織物紡績工場の背後地誘致成功を機に、それまでの綿花に加え豪州羊毛の輸入船寄港が実現し、国際貿易港としての第一ページが開かれた。また板硝子、セメント、肥料、石油精製、電気製品、海軍燃料廠等が続々と港の背後地に立地し、材料、製品の本港利用が著増した。

昭和30年に旧海軍燃料廠跡地の民間払下げが決まり、昭和34年にわが国最初の石油化学コンビナートが誕生し、今日の臨海工業地帯に発展してきた。港勢は背後地産業の拡大、国民生活の向上に支えられ、順調に発展を続け、昭和27年には特定重要港湾に指定され、わが国の代表的貿易港の一つとして港湾施設の整備が一段と促進されることとなった。昭和34年の伊勢湾台風による大災害も関係者の努力で禍を転じて福となし、近代港湾に脱皮し、一層の飛躍を続けている。

昭和41年に三重県と四日市市により、四日市港管理組合が設立され、一元的管理、発展を図ることとなった。同44年に日豪コンテナ航路就航に当たり定期寄港地の指定を受け、同48年に四日市コンテナ埠頭株式が霞ヶ浦地区に本格的コンテナ埠頭を建設し、隣接してウールセンター、ミートセンター、自動車野積場等も整備された。また、平成7年に公共コンテナターミナル、同8年には四日市港国際物流センターが整備され、物流基地としての機能がより一層充実した。さらに平成16年7月に名古屋港とともに伊勢湾スーパー中核港湾として指定されており、平成22年には霞ヶ浦地区北ふ頭国際海上コンテナターミナルを全面供用するなど国際競争力強化に向けた取組を進めてきた。

その後、平成23年の法改正による港格の見直しの結果、四日市港は国際拠点港湾に位置付けられたが、港湾運営会社

制度においては、国際戦略港湾(京浜・阪神)と同様の規定が適用されることとなった。平成26年11月に四日市港の特例港湾運営会社として、四日市港埠頭株式が指定され、平成27年4月から、霞ヶ浦地区南埠頭27号岸壁の同社による運営が開始された。平成29年9月からは、伊勢湾で一つの港湾運営会社による一体的なコンテナターミナル運営を実現するため設立された名古屋四日市国際港湾株式がコンテナターミナルの運営を行っている。

こうしたターミナル運営を支援するため、また、コンテナ貨物量の増加や船舶の大型化に対応するため、霞ヶ浦北埠頭80号岸壁においてコンテナクレーンを増設したほか、物流機能の強化のため、霞ヶ浦北埠頭流通センターが整備された。また、平成30年4月には、臨港道路霞4号幹線(四日市・いなばポートライン)が開通し、四日市港と背後圏の道路アクセスが向上した。

令和元年の港勢は、17,467隻、63,589,840総トンの入港船を数え、60,835,599トン(外貿40,194,931トン、内貿20,640,668トン)の貨物を取り扱い、外国貿易金額は輸出8,360億円、輸入15,866億円、合計24,227億円であった。

港湾施設の現況は、公共、民間154バース、315,000D/Wのシーバース、65,000D/Wの大型船舶けい留施設を始め、小型船舶けい留施設及び上屋、倉庫、野積場、荷役機械、給水栓、曳船、廃油処理施設、福利厚生施設等が完備している。また、防災処理体制として官民港湾関係者で、伊勢湾流出油災害対策協議会、四日市港湾災害対策協議会を組織し、災害の発生予防、発生後の災害の限定等について万全を期している。

次に、本港の将来計画としては、平成21年8月に、概ね20年後の四日市港のありたい姿を描いた「四日市港長期構想」を策定している。この長期構想では、「地域に貢献する、なくてはならない存在としての四日市港づくり」を基本理念とし、「背後圏産業の発展を支えるみなと・四日市港」、「都市・住民とともにあるみなと・四日市港」、「環境にやさしいみなと・四日市港」の3つの将来像とその実現のための取組を掲げている。

この長期構想に掲げた3つの将来像を実現するため、平成23年4月に、目標年次を令和一桁前半とし、四日市港に必要な施設等を各機能別に位置づける港湾計画の改訂を行った。

さらに、同年9月には四日市港長期構想及び四日市港港湾計画を踏まえた、4年間のアクションプランである「四日市港戦略計画」を策定し、その推進に取り組んでいる。

平成31年4月に、第3次の計画となる「四日市港戦略計画2019～2022」を策定し、公表した。同計画では、「物流を支援

する港づくり」、「人流を創出する港づくり」、「地域を守る港づくり」を政策の柱とし、これらの政策の着実な推進を図っていくため、ハード面とソフト面の取組を一体的に進めていくこととしている。

今後とも、本港を取り巻く情勢の変化や背後の企業・住民のニーズを的確に把握し、地域に貢献する、なくてはならない存在としての四日市港づくりを推進することにより、さらなる発展を目指す。

2. 港勢

入港船舶

種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	1,778	47,696,442	534	35,129,959	340	7,606,005	405	3,698,288
内航商船	14,673	13,997,913	4	200,568	5	123,588	4	28,638
自航 その他	1,300	225,032	1	33,126				
合計	17,751	61,919,387	539	35,363,653	345	7,729,593	409	3,726,926

種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	173	712,636	254	503,071	29	25,086	43	21,397
内航商船	1,290	4,955,285	1,375	3,317,223	3,872	3,013,787	8,123	2,358,824
自航 その他	5	21,354			30	17,310	1,264	153,242
合計	1,468	5,689,275	1,629	3,820,294	3,931	3,056,183	9,430	2,533,463

最大入港船舶のトン数 163,922 総トン（喫水 12.22 m）

海上出入貨物

項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	4,208,454	100.0	691	0.0	2,010	0.0	700	0.0	741,523	17.6
輸入	35,988,543	100.0	230,018	0.6	154,570	0.4	18,521,927	51.5	660,426	1.8
計	40,196,997	100.0	230,709	0.6	156,580	0.4	18,522,627	46.1	1,401,949	3.5
移出	14,805,598	100.0	4,067	0.0	672	0.0	1,256,054	8.5	1,403,340	9.5
移入	5,707,209	100.0	22,051	0.4	64	0.0	224,285	3.9	967,426	17.0
計	20,512,807	100.0	26,118	0.1	736	0.0	1,480,339	7.2	2,370,766	11.6
合計	60,709,804	100.0	256,827	0.4	157,316	0.3	20,002,966	32.9	3,772,715	6.2

項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	3,116,023	74.0	22,050	0.5	283,753	6.7	41,704	1.0		
輸入	15,633,549	43.4	68,805	0.2	661,159	1.8	58,089	0.2		
計	18,749,572	46.6	90,855	0.2	944,912	2.4	99,793	0.2		
移出	12,062,525	81.5	27,984	0.2	7,752	0.1	43,204	0.3		
移入	4,468,190	78.3	4,384	0.1	291	0.0	20,518	0.4		
計	16,530,715	80.6	32,368	0.2	8,043	0.0	63,722	0.3		
合計	35,280,287	58.1	123,223	0.2	952,955	1.6	163,515	0.3		

太字は自動車航走船取扱貨物（外数）で、計及び合計に含まない

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出	1,950,666	88,766	19,089
輸入	1,863,404	89,929	7,022

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路	25,486	12,719	12,767
内国航路	8,531	4,445	4,086
計	34,017	17,164	16,853